

北海道網走桂陽高等学校

課 程：全日制

学 科：普通・商業・事務情報

生徒数：427 名

本校の目指す生徒像

- ・社会の一員として責任を果たす生徒
- ・学ぶことを使命とし知徳を磨く生徒
- ・品格があり豊かな人間性を培う生徒
- ・心身とも健康で自ら鍛錬に励む生徒

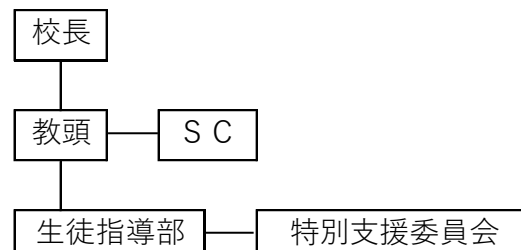
本校の現状

- ・普通科と商業科の併置校
- ・多様な進路希望(進学 60%、就職 40%)
- ・資格取得の推奨
- ・全生徒が青少年赤十字に加入

本校の取組の特徴

教育相談的な支援・指導を基調に、生徒理解の深化による個性の伸長と自己実現を進めるとともに、望ましい生活態度や人間関係の育成を図る。

毎月第一月曜日を「桂陽安全安心の日」とし、安全安心な学校づくりを目指す。



取 組 の 経 過

実施月日	実施内容	身に付けさせたい力			対象学年
		A	B	C	
4 月 23～25 日	宿泊研修におけるコミュニケーション能力の育成	○	○		1 年
通年	毎月桂陽安全安心の日、援助希求的態度の育成を図るための集団カウンセリング等の実施	○	○	○	全学年
6 月・10 月 7 月・12 月	「Q U」及び「ほっとプラス」検査による検証及び研修の実施	○	○	○	全学年
通年	定期的なスクールカウンセラーによるカウンセリングの実施	○	○		全学年
通年	自殺予防教育プログラムの実施	○	○	○	全学年

※身に付けさせたい力 【 A 人間関係を形成する力 B コミュニケーション能力 C 援助希求的態度 】

取 組 の 内 容

- 人間関係を形成する力やコミュニケーション能力の育成を図る取組
 - ・生徒会活動やボランティア活動および校外での学習を推進し、地域住民等とのコミュニケーションの機会を設定多くする。
- 自殺予防教育の取組
 - ・自殺予防教育プログラムを実施した。教科においても、「命の大切さを学ぶ授業」を実践している。ストレス対処能力育成授業の取組により、ほっとプラスにおける「失敗を見つめ直す力」が弱いと答えた生徒が全体の 20%から 10%へと減少した。
- スクールカウンセラーによる支援
 - ・4 月より月 1 回のペースで、カウンセリングの日を設定し、希望生徒に対応している。
 - ・今年度の生徒の利用は 15 名（のべ人数）、保護者や教員にも適切なアドバイスを行っている。
 - ・教員へのカウンセリング方法の校内研修を実施した。

次年度に向けて

1 成果の検証

- (1) 生徒の学校生活や学級環境適応感、学級満足度、人間関係形成能力、コミュニケーション能力等に関するアセスメント結果（「ほっと」による検証を含む）
 - ・ 1 年生は入学時の不安な状況、2 年生はクラス替えからの不安な状況が見られたが、クラスでの様々な取組を経て、新たな人間関係を構築する姿がみられた。
 - ・ Q U の結果から「学級生活不満足群」の要支援生徒数（1・2 年生）が 12 名から 5 名へ減少した。
- (2) 不登校生徒数及び中途退学者数、いじめの認知件数及び解消率
 - ・ 平成 29 年度は中途退学者が 2 名であったが、平成 30 年度は 0 名となっている。
 - ・ 今年度のいじめの認知件数は 4 名であったが、迅速に対応しすべて解消した。解消率は 100%である。
- (3) 人間関係を形成する力やコミュニケーション能力の育成を図る取組による生徒の変容
 - ・ 各種学校行事等において、クラス内でのコミュニケーションを上手にとり、円滑に取り組む姿が見られた。
 - ・ 校外での活動から達成感を得ることにより、学習意欲の高まりが見られた。
 - ・ 3 年生の進路決定や各学年の検定資格取得への取組で、生徒同士の協力が見られた。
 - ・ 日常生活を振り返り、SNS などの問題について、生徒会が中心となって課題解決に取り組む姿勢が見られた。
- (4) 本プログラムに対する教員の理解や取組状況
 - ・ 生徒指導部を中心に教科との連絡を図ることで効率的にプログラムを推進する。運営会議には、各学年主任も参加し、学年経営へのプログラムの活用を図る。
 - ・ スクールカウンセラーによる校内研修を実施し、個々の事例等から適切な対応について学ぶ。

2 課題

入学後、早期の人間関係の構築を目指し、コミュニケーションスキルの育成に取り組んできたが、各学年のスタート時でも、継続的な指導が必要な事から、同様の取組を検討する必要がある。

3 次年度に向けて

- (1) 「QU」及び「ほっとプラス」から得た情報を活用し、一人一人の生徒に適切な支援を行うための計画的な取組を実施する。
- (2) 同世代以外とのコミュニケーション力を育成するために、ボランティア活動や地域イベントへの参加を促進していく。

